

## 信州環境カレッジ第2回交流会の概要

～SDGsの達成に向けた企業、学校、地域のつながり～

- 1 日時 令和元年10月3日(木) 13:30～16:30
- 2 場所 松本市松南地区公民館 なんなんひろば大会議室
- 3 出席者 信州環境カレッジ講座登録者26、企業9、学校関係者6、行政20、その他5 計66名
- 4 内容

### (1) 事例発表

#### ア いきものみつけファーム in 松本推進協議会

発表者：降旗一路会長、藤村哲

「いきものみつけファーム in 松本推進協議会」は、松本市、松本大学、企業、NPO 法人などを構成団体とし、子ども達の「食と農」に関わる環境学習・環境教育を支援することで、豊かな自然と環境への負荷の少ない社会経済の発展を目的としている。化学肥料に頼らない米づくりをテーマとする田んぼフィールドと野菜を育て収穫体験を目的とする畑フィールドで活動を行っている取組について発表。



#### イ (公財)長野県テクノ財団 伊那テクノバレー地域センター リサイクルシステム研究会

発表者：中澤春樹コーディネータ

「リサイクルシステム研究会」は、上伊那、下伊那地域の企業で構成され、産業の発展と自然環境の共生を図るために、調査研究・情報提供事業として発足した。ごみの分別の意義や大切さを考えるとともに、天竜川水系の現状を体感し、自然環境との共生を目指すため、企業の従業員等を対象に、家族とピクニック気分に参加できる「天竜川水系環境ピクニック」の取組について発表。



#### ウ 松本市環境政策課、松本市立安曇小学校

発表者：堀井南風主任、片桐義和教諭

松本市からは、環境教育に取り組みたい小中学校を、民間団体（ee ネット、環境教育講師団体）、松本市、松本市教育委員会の3者の立場から支援する小中学校環境教育支援事業や松本市海洋教育パイオニアスクールプログラムの取組について発表。

安曇小学校からは、学校の重点活動として取り組んでいる上高地をフィールドとした上高地学習やその中で民間団体等の講師の協力を得て実施している事例について発表。



## (2) グループワーク

ファシリテーター：松本大学総合経営学部中澤朋代准教授

グループワークは、「SDGsの目標4（質の高い教育をみんなに）と17（パートナーシップで目標を達成しよう）を共通目標として、市民団体・企業・行政・学校が協働して、地球的視野を持ちながら、地域で実践できる環境教育・環境学習の企画案を考えてみよう！」とし、以下の8つのテーマごとのグループとした。

- 1 脱炭素（気候変動、再生可能エネ）
- 2 自然共生（自然保護、生物多様性）
- 3 水大気（水環境保全、大気環境保全）
- 4 資源循環（プラスチック、海洋ごみ）
- 5 暮らし（エシカル消費）
- 6 若者の就労支援、環境技術の習得
- 7 子育て、自然体験
- 8 食と農、国連家族農業の10年



参加者は、自分の議論したいテーマのグループに分かれ、予め依頼したテーマごとの進行役の進行により、自己紹介シートに基づき「こんなことをしています」、「こんなことで役立ちたい」、「こんなつながりがほしい」ことについて自己紹介したあと、テーマごとの企画案のアイデア出しを行った。その後、テーマごとにグループワークの結果について発表した。

途中、みんなの心を一つにするというパフォーマンスも飛び出すなど、和やかな雰囲気の中でグループワークが行われた。

最後に、より多くの方と交流ができるよう全体の名刺交換タイムを設けた。

